



1

問題を解くのと答えを確かめるのってどっちが難しいの？



PROVE P vs NP, GET 1M DOLLAR

研究室紹介

長尾研

長尾研概略

⇒ 教員： 長尾 篤樹 居室：401室

⇒ 専門： 理論計算機科学

(計算量理論, アルゴリズム論, 組合せゲーム・パズル等)

⇒ 授業： 2年前期『~~システムプログラミング実習~~』

3・4年前期『言語理論とオートマトン』 ○

3・4年後期『計算基礎論』 ◎

⇒ 研究室： 408室

⇒ 次年度の学生： M2:2名, M1:3名
B4:3~4名?

長尾研スケジュール予定



⇒ゼミ・ミーティング

⇒コアタイムは週3+1コマほど。

⇒それ以外も研究室に入り浸ってくれると嬉しい

⇒卒研用に個別ミーティング 証明を作ろう！

⇒輪講・進捗報告会 人前で話す訓練！

⇒学会等

⇒7月頭：50人規模のシンポジウム@淡路島

⇒本来は合宿形式だが今年は個別宿泊

⇒随時：成果が出れば各地で学会発表

⇒良い結果だと海外へ！

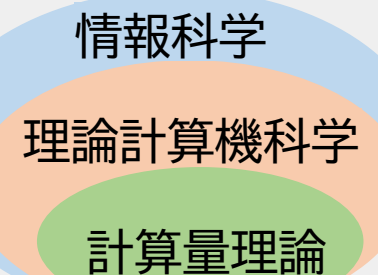


専門分野の説明



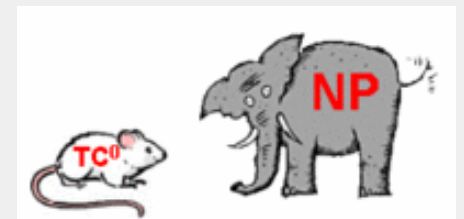
理論計算機科学

- ⇒ 計算機科学分野のうち、理論を扱う分野
 - ⇒ 組合せ理論・グラフ理論・情報理論等を扱う
 - ⇒ 確率論・(線形)代数等も時々扱う



計算量理論

- ⇒ 問題(関数や言語, 集合)の難しさをその問題を解く計算モデルの要求するリソースの規模によってクラス分けする学問

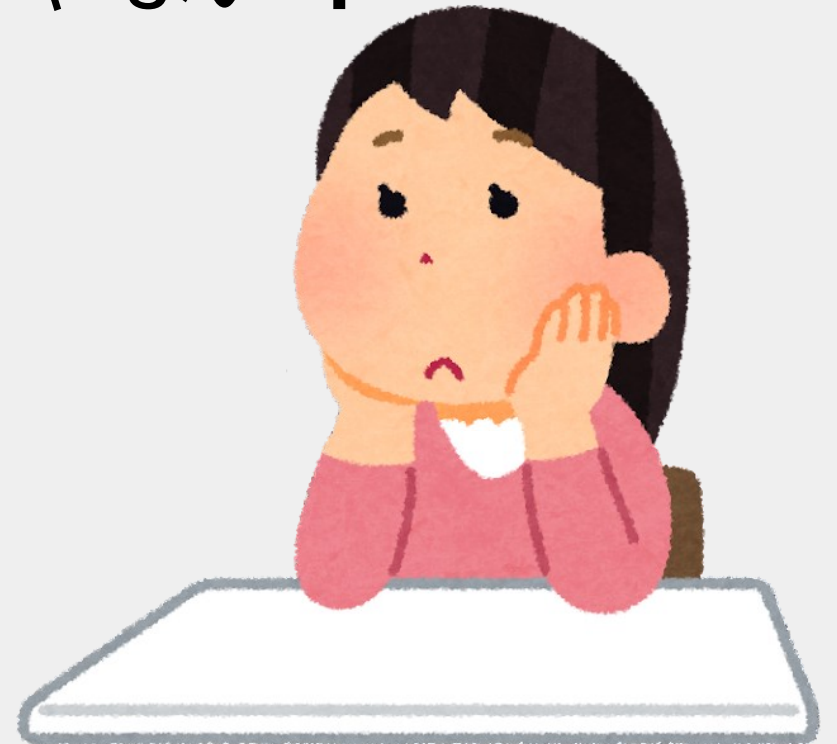


究極のテーマをザックリと

⇒「難しい」ってなに？

⇒≡パズルやゲームの「楽しい」ってなに？

⇒それってNP完全じゃない？



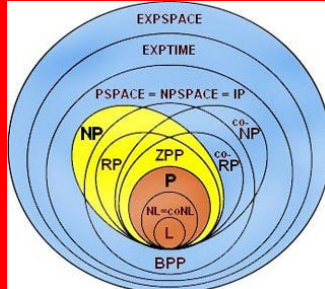
扱うテーマはいろいろ

最近の卒論では
・計算量理論
・グラフ理論
・組合せゲーム理論
が取り組まれている。

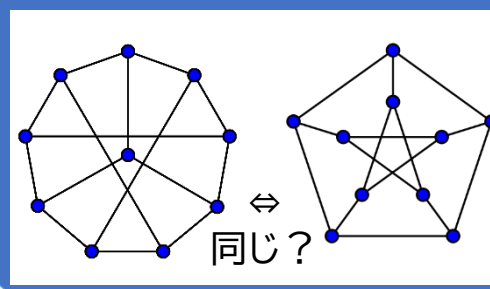
⇒ キーワード: NP完全, アルゴリズム

⇒ グラフ・論理パズル・組合せゲーム等も…

計算量理論



グラフ理論



厳密アルゴリズム

Exponential Time Algorithms for 3SAT

- 2^n algorithm is trivial
- 1.618ⁿ [Monien, Speckmeyer 85]

$$F = (x_1 \vee x_2 \vee x_3)(\bar{x}_1 \vee \bar{x}_4 \vee \bar{x}_5)(\bar{x}_2 \vee \bar{x}_6) \cdots (\bar{x}_1 \vee \bar{x}_3 \vee \bar{x}_5) \cdots$$

$$x_2 = 0 \quad x_2 = 1$$

$$T(n-1) \quad T(n-2)$$

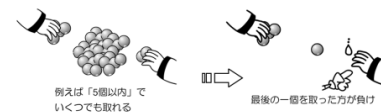
$$T(n) = T(n-1) + T(n-2) \Rightarrow T(n) = \left(\frac{1+\sqrt{5}}{2}\right)^n$$

always size 2^n ?

$$F = \cdots \cdots (x_1 \vee \vee \vee) \cdots \cdots (\bar{x}_1 \vee \vee \vee) \cdots \cdots$$

組合せゲーム理論

二人対戦石取りゲーム (ニム)



例えば「5個以内」で
いくつでも取れる

最後の一回を取った方が負け

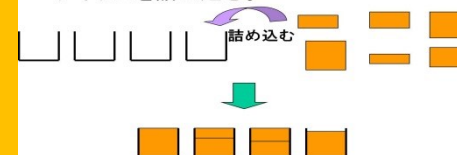
・先手が有利? 後手が有利?

- ・石取りゲームはルールによっては簡単に先手必勝手順が見つかる
- ・じゃあ「一列に並べて隣り合う石しか取れない」ルールなら…?
- ・一列ではなく、グラフの頂点に石を置いてみると…?

近似アルゴリズム

ビンパッキング

- ・使用するビン(箱)の数が最小になるように、
アイテムを詰め込む。



詰め込む

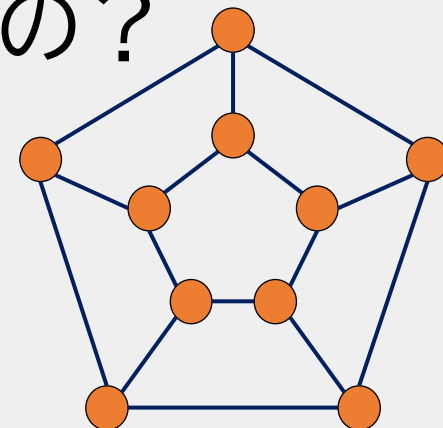
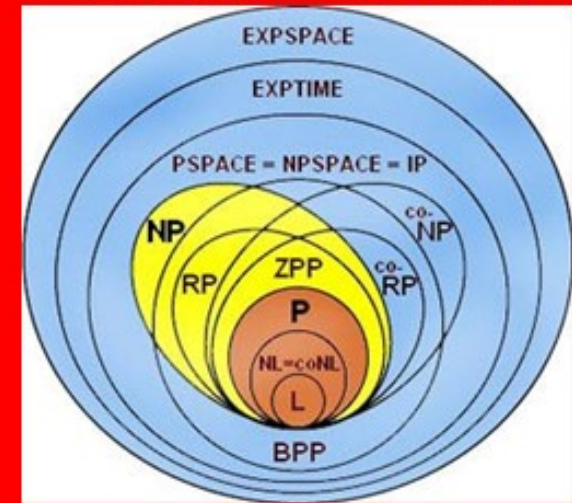
計算量理論

⇒ 問題の『難しさ』
を追求するテーマ

⇒ $P \neq NP$ 問題を筆頭とした様々な課題が

- ⇒ 非決定性計算って強いのか？
- ⇒ 乱数を使うと扱える問題は増えるのか？
- ⇒ 量子アルゴリズムって本当に強いのか？
- ⇒ 難しいパズルってどんなの？
- ⇒ 難しいゲームって？

計算量理論





グラフ理論

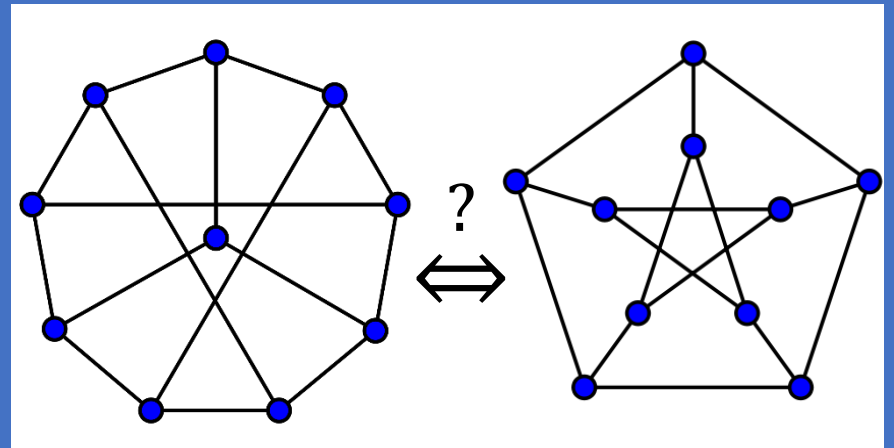
⇒ NP完全な問題も
豊富なジャンル

⇒ グラフの特徴を様々な視点で探ろう！

- ⇒ ハミルトン閉路問題は一般にはNP完全
 - ⇒ グラフを二部グラフに制限してもNP完全
 - ⇒ 全頂点の次数が3でもNP完全
 - ⇒ 最大次数3の平面グラフでもNP完全

⇒ でも、4-連結だと線形時間で解ける！

グラフ理論



組合せゲーム理論

⇒ ゲームやパズルを
計算量の観点で

⇒ 『難しい』パズルとそうでないパズル？

⇒ 計算量理論の言葉で説明可能

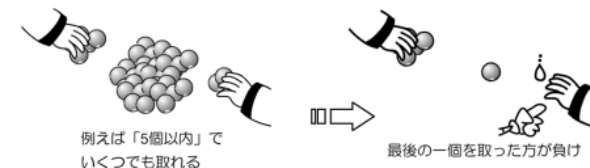
⇒ 勝つのが『難しい』ゲームとは…？

⇒ 同様に説明可能

⇒ グラフ上の問題やSATから帰着して証明

組合せゲーム理論

二人対戦石取りゲーム (ニム)



- 先手が有利？ 後手が有利？
- 石取りゲームはルールによっては簡単に先手必勝手順が見つかる
- じゃあ「一列に並べて隣り合う石しか取れない」ルールなら…？
- 一列ではなく、グラフの頂点に石を置いてみると…？



厳密アルゴリズム

⇒ NP完全な問題を
できるだけ早く解く

⇒ 多項式時間アルゴリズムが
存在しなさそう…だけど…!

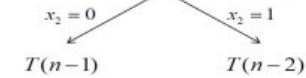
⇒ SATは総当たりで
 $O(2^n)$ の計算時間
⇒ 2をできるだけ
小さく!

厳密アルゴリズム

Exponential Time Algorithms for 3SAT

- 2^n algorithm is trivial
- 1.618^n [Monien, Speckenmeyer 85]

$$F = (x_1 \vee x_2 \vee x_3)(x_1 \vee \bar{x}_4 \vee \bar{x}_5)(\bar{x}_2 \vee \bar{x}_6) \cdots (\bar{x}_1 \vee \bar{x}_4 \vee \bar{x}_5) \cdots$$



$$T(n) = T(n-1) + T(n-2) \Rightarrow T(n) = \left(\frac{1 + \sqrt{5}}{2} \right)^n$$

always size 2?

$$F = \cdots \cdots (x_1 \vee \circ \vee \circ) \cdots \cdots (\bar{x}_1 \vee \circ \vee \circ) \cdots \cdots$$

Table 1. Worst case upper bounds for 3-SAT

c	type	ref.	c	type	ref.
1.839	det.	[MS79]	1.362	rand.	[PPSZ98]
1.769	det.	[Dan83]	1.334	rand.	[Sch99]
1.618	det.	[MS85]	1.3302	rand.	[HSSW02]
1.579	det.	[Sch92]	1.32971	rand.	[Rol03a]
1.505	det.	[Kul99]	1.3290	rand.	[BS03]
1.497	det.	[Sch96]	1.32793	rand.	[Rol03b]
1.481	det.	[DGH+02]	1.3238	rand.	[IT04]
1.476	det.	[Rod96]	1.32267	rand.	[IT04] + [PPSZ05]
1.473	det.	[BK04]	1.32216	rand.	[Rol06]
1.465	det.	[Sch08]	1.32113	rand.	This paper



近似アルゴリズム

⇒ NP完全な問題を『雑に』早く解く

⇒ 最適解でなくても良いので近似解を
⇒ 単なる解ではなく、精度の保証を

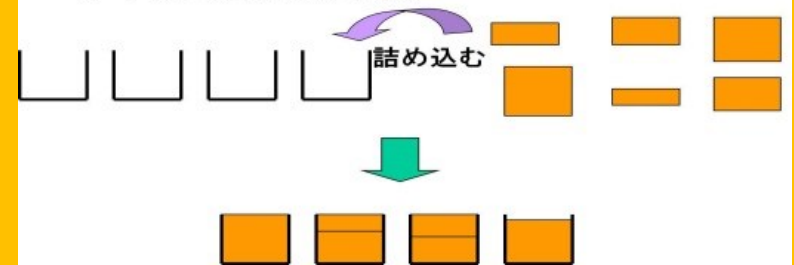
⇒ 多項式時間アルゴリズムとそこそこの精度を両取り

⇒ 実用上も便利！

近似アルゴリズム

ビンパッキング


- 使用するビン(箱)の数が最小になるように、アイテムを詰め込む。



どんな学生がマッチするか



- ⇒ 読む見る考える遊ぶが好きな人
 - ⇒ 基本的に論文・教科書相手の生活
 - ⇒ 人間と共同作業でモノづくりが一番遠い…
 - ⇒ 学会の懇親会でボードゲームをすることも
 - ⇒ 研究室にもたくさんあります

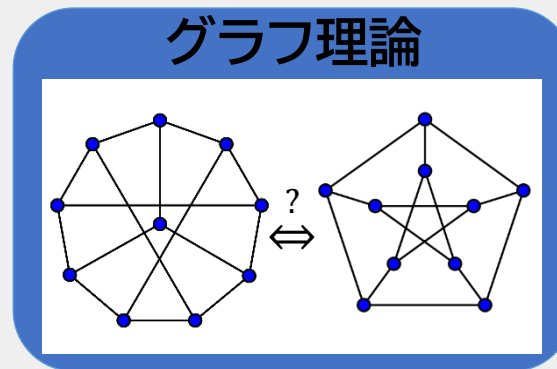
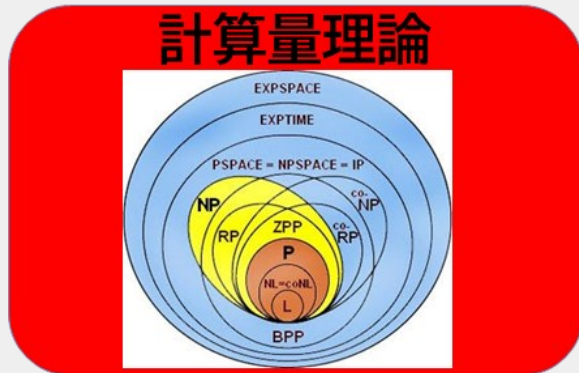
- ⇒ 研究室に居座りたい人
 - ⇒ 雑談から解決の糸口が見つかる事も
 - ⇒ 一人で黙々と研究するのも◎
 - ⇒ 腰を据えて博士後期課程進学も 



長尾研にてお待ちしております。

⇒ アルゴリズム・計算量を研究しませう

⇒ 自身の興味をアルゴリズムに絡めるのも歓迎！



厳密アルゴリズム

Exponential Time Algorithms for 3SAT

- 2^n algorithm is trivial
- 1.618^n [Monien, Speckenmeyer 85]

$$F = (x_1 \vee x_2 \vee x_3)(x_1 \vee \bar{x}_4 \vee \bar{x}_5)(\bar{x}_2 \vee \bar{x}_6) \cdots (\bar{x}_1 \vee \bar{x}_4 \vee \bar{x}_5) \cdots$$

$x_2 = 0$ → $T(n-1)$
 $x_2 = 1$ → $T(n-2)$

$$T(n) = T(n-1) + T(n-2) \Rightarrow T(n) = \left(\frac{1 + \sqrt{5}}{2} \right)^n$$

always size 2^n ?

$$F = \cdots \cdots (x_1 \vee \vee \vee) \cdots \cdots (\bar{x}_1 \vee \vee \vee) \cdots \cdots$$

組合せゲーム理論

二人対戦石取りゲーム (ニム)

例えば「5個以内」でいくつでも取れる
最後の一回を取った方が負け

- 先手が有利？ 後手が有利？
- 石取りゲームはルールによっては簡単に先手必勝手順が見つかる
- じゃあ「一列に並べて隣り合う石しか取れない」ルールなら…？
- 一列ではなく、グラフの頂点に石を置いてみると…？

近似アルゴリズム

ビンパッキング

- 使用するビン(箱)の数が最小になるように、アイテムを詰め込む。

